



おおくす

福平小学校だより
11月号
令和2年11月20日発行

あいさつが できるぼくは カッコいい 1年 大内田 銀士

初めての授業参観

密を防ぐことができないと考え、実施を見送ってきた教室での授業参観でしたが、3日間にわたる6時間に分散することで、地域が育むかごしまの県民週間に当たる11/2.4.6に保護者限定で実施しました。

参観者の皆様には、消毒や飛沫感染防止、密を防ぐための参観場所の譲り合いなど、ご協力いただきありがとうございました。「久しぶりに授業参観できてよかった」「クラスの雰囲気や友達との様子を見て安心した」「コロナ禍でも楽しそうに学校生活を送っている子どもたちの姿を見て幸せを感じた」などの感想をいただきました。

なお、12月1週目には、初めての学級PTAを計画しています。



修学旅行に いってきました

コロナ禍の状況を踏まえ慎重に検討を進め、クラスター発生対策を工夫したうえで、11/17~11/18に熊本への修学旅行を行いました。

社会科の学習でちょうど幕末・明治維新を学んでいることから、田原坂や熊本城では学んだことを現地で確かめるなど、とても興味深く歴史を学ぶ姿が見られました。

また、2日目には遊園地で友達と楽しい思い出をつくることもできました。

この日へ向けて各自が健康管理に努め、全員参加することができました。様々なリスクがあるなか、小学校生活の思い出づくりのためご理解・ご協力してくださった皆様、本当にありがとうございました。



リモート音楽会

福平小では、5年生が学級ごとに合唱奏に取り組んでおり、例年であれば、代表が市音楽会に出場します。今年度は市全体の会が中止となったため、校内で音楽会を開催しました。校内の観客は5年生だけでしたが、テレビ会議のシステムを使って、錫山小の友達にも参加してもらいました。接続状況によって、聞きづらい場面もありましたが、互いのがんばりが伝わり、称え合う様子が見られました。この音楽会の様子は、録画したものを全学級で視聴する予定です。



全身で感じた響き

横浜を本拠地とする和太鼓集団「打鼓音」を招いて、心の教育芸術鑑賞を催しました。密を防ぐために学年ごとに6回公演したり透明なシートを張り飛沫を防いだりしていただきました。和太鼓の世界大会で優勝するなど実力ある方々による本物の演奏の迫力を体全体で感じる事ができました。



白杖や車いすの体験

4年福祉学習の一環で、社会福祉協議会のご協力のもと、体験活動を行いました。体の不自由な方にも優しい町づくりを考える学習に発展していきます。



「忙しい」を発する前に...!

新型コロナウイルス騒動で明け暮れた令和2年も、あと10日ほどで師走を迎える。この師走の「師」はお坊さんのことで、お坊さんが走るほど忙しいとの意味を含むらしいが、これから日一日と年の瀬が近づき、あわただしさを感じるようになってくることだろう。

本当に忙しいから、「忙しい」と言うのだが、親であれ、教師であれ、大人は、子どもに対して「忙しい」という言葉をよく使う。この「忙しい」という言葉は、心を意味するりっしんべんに亡くする、つまり心を亡くすと書く。この心とは、どんな心であろうか？子どもは聴いてほしくて、かかわってほしくて話しかけるのだけれども、親や教師に「忙しい」と言われると、それ以上話しかけたり、お願いをしたりということがしづらくなる。「あなたに構っている暇はないから、後でね。」とは言いにくいので、そう言う代わりに「忙しい」を使う。ただ、どんなに忙しくても自分のやりたいことのためには、あるいは自分にとって大事なことのためには、時間を割けるのが人の常であるのだが...

「忙しい」という言葉は、いとも簡単に相手との距離を遠ざける、相手を拒絶する言葉である。だから、「忙しい」という言葉が発するとき、そこにはないのは、ゆとりであり、相手を受け入れようとする心、相手の側を思う心ではあるまいか。

師走のせわしさを感じる日々が間もなくやってくるが、目の前の子どもを見つめる、子どもの言葉に耳を傾ける、子どもとかかわる、そういうゆとりと子どもの側に立つ心は持ち合わせていたい。かく言う自分自身がまず「忙しい」を封印しよう!



12月の行事予定

日 曜	行事等
1 火	持久走大会・学級PTA (5.6年)
2 水	持久走大会・学級PTA (3.4年)
3 木	持久走大会・学級PTA (1.2年) (特別支援学級)
4 金	持久走大会予備日
7 月	持久走大会予備日/校納金引き落とし
12 土	土曜授業/学校創立記念イベント
24 木	終業式
28 月	仕事納め

※ 12/1~12/7: 校内人権週間

※ 12/25~1/7: 冬季休業

※ これらの日程は予定であり、変更することがあります。

LET'S PROGRAMING!

昨年度から学校全体で取り組んでいるプログラミング教育の実践が進んでいます。

2年生では、「アリロ」というロボットをi-padで操作して障害をよけてゴールへ導くプログラムを作っています。



他の学年でも、各学年の学習内容に応じて計画を立てて学習を進めています。

新しい職員の紹介

←吉野スクールサポートスタッフ
トイレやドアノブ、手すりなどの消毒や印刷等の業務に携わります。



松山学習指導員→

主に3年生の教科学習の授業に入って、学習の遅れを取り戻すために個別指導を行います。

